

第 6 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

【PLAN】

事務事業の目的と成果

事業名	河川氾濫防止事業（駄馬の沢川泥溜樹土砂除去）				事業期間	— 年度 ~ — 年度						所管課係	土木課維持係	
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設	第6期総合計画の位置付け	4-6-1	他に関連する基本事業	—	—	—	—	—	—	
目的 (何のために実施するのか)	降雨時や融雪時に上流から流出し、樹に堆積した土砂を定期的に除去することで、正常な流水の機能を維持し、災害の発生を防止する。						手段 (どのような方法で実現するのか)		業者請負により、年2回堆積土砂を除去し運搬処理する。					
対象 (誰・何を対象としているのか)	流域の市民及び施設。						成果 (どのような効果が得られるのか)		降雨時や融雪時の出水に対しても、災害を防ぎ正常な河川の機能を維持する。					
事業開始時の状況・これまでの経緯（行事内容含む）	普通河川「駄馬の沢川」は、融雪時や大雨による出水で大量の土砂が流出し、下流の川底に堆積していた為、台風時期などには付近の田畑の冠水や住宅に浸水の危険があった。													

【DO】

実績

(単位：円)

		第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第6期 総合計画 合計	
		第1年次 (23年度)	第2年次 (24年度)	第3年次 (25年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (26年度)	第5年次 (27年度)	第6年次 (28年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (29年度)	第8年次 (30年度)	第9年次 (31・R元年度)	第10年次 (R2年度)		実施4カ年 合計
投入された事業費の推移	国費	計画額			0				0					0	0
		予算計上額			0				0					0	0
		実績額			0				0					0	0
	道費	計画額			0				0					0	0
		予算計上額			0				0					0	0
		実績額			0				0					0	0
	地方債	計画額			0				0					0	0
		予算計上額			0				0					0	0
		実績額			0				0				15,994,000	15,994,000	15,994,000
	その他	計画額			0				0					0	0
		予算計上額			0				0					0	0
		実績額			0				0					0	0
一般財源	計画額	900,000	900,000	900,000	2,700,000	1,000,000	950,000	950,000	2,900,000	1,739,000	1,080,000	1,080,000	1,080,000	4,979,000	10,579,000
	予算計上額	900,000	900,000	900,000	2,700,000	1,000,000	1,050,000	1,080,000	3,130,000	1,739,000	1,772,000	1,903,000	1,903,000	7,317,000	13,147,000
	実績額	840,000	840,000	840,000	2,520,000	950,400	993,600	1,047,600	2,991,600	1,598,400	1,663,200	1,793,000		5,054,600	10,566,200
事業費合計	計画額	900,000	900,000	900,000	2,700,000	1,000,000	950,000	950,000	2,900,000	1,739,000	1,080,000	1,080,000	1,080,000	4,979,000	10,579,000
	予算計上額	900,000	900,000	900,000	2,700,000	1,000,000	1,050,000	1,080,000	3,130,000	1,739,000	1,772,000	1,903,000	1,903,000	7,317,000	13,147,000
	実績額	840,000	840,000	840,000	2,520,000	950,400	993,600	1,047,600	2,991,600	1,598,400	1,663,200	1,793,000	15,994,000	21,048,600	26,560,200
事業費予算の内容		土砂除去	土砂除去	土砂除去		土砂除去	土砂除去	土砂除去		土砂除去	土砂除去	土砂除去	土砂除去		
	前年度予算との比較 (増減理由)	前年度同額	前年度同額	前年度同額		人件費増により前年度より増額	人件費増により前年度より増額	人件費増により前年度より増額		人件費増及び諸経費の見直しにより前年度より増額	人件費増により前年度より増額	人件費増により前年度より増額	下流部の土砂除去を追加したため増額		
	実績との比較 (増減理由)	入札による減	入札による減	入札による減		入札による減	入札による減	入札による減		入札による減	入札による減	入札による減	予算追加による増		

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)		指標名：泥溜樹土砂除去回数			指標の求め方：泥溜樹土砂除去回数									
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)		指標名：駄馬の沢川氾濫回数			指標の求め方：駄馬の沢川氾濫回数									
指標	活動指標 1 (単位/回)	計画値	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		実績値	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3
指標	成果指標 1 (単位/回)	計画値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		実績値	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
事業 評価	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)					ほぼ達成されている				ほぼ達成されている				達成されている
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)					あまり上がっていない				変わらない				変わらない
	事業の効率性 (事業費に対する成果)					あまり上がっていない				変わらない				変わらない
	総合評価					問題がある				問題がある				問題がある
	総合評価の判断理由 理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析：河川の氾濫については、ありませんでしたが畑への冠水が一部あり、既に下流側に流出している土砂が原因となっており今後の課題である。	自己分析：河川の氾濫については、ありませんでしたが畑への冠水が一部あり、既に下流側に流出している土砂が原因となっており今後の課題である。	自己分析：河川の氾濫については、ありませんでしたが畑への冠水が一部あり、既に下流側に流出している土砂が原因となっており今後の課題である。	判断理由：集中豪雨等による著しい土砂の流失が多いため、回数の見直し等が必要と判断しているため	自己分析：河川の氾濫はありませんでした畑への冠水が一部発生し、既に下流側に流出している土砂が原因となっており今後の課題である。	自己分析：大雨等による河川の氾濫はなく、一定の効果があったと判断している。	自己分析：8月の台風上陸により、大雨による河川の氾濫が発生し、下流側に土砂が大量に流出したが、定期的な堆積土砂の除去により、耕作地への大きな被害は出なかった。しかし、年々取り残している土砂が増加しているため、後年次に大規模な土砂除去を行う必要がある。	判断理由：大雨等による河川の氾濫はなく、一定の効果があったと判断している。ただし、第1次で課題となっていた土砂除去については、未だ解決していない状況である。	自己分析：河川の氾濫はありませんでした畑への冠水が一部発生し、既に下流側に流出している土砂が原因となっており今後の課題である。	自己分析：河川の氾濫はありませんでした畑への冠水が一部発生し、既に下流側に流出している土砂が原因となっており今後の課題である。	自己分析：河川の氾濫はありませんでした畑への冠水が一部発生し、既に下流側に流出している土砂が原因となっており今後の課題である。	自己分析：河川の氾濫は、なく、また、課題となっていた下流部の土砂除去の予算措置を行い、実施されたことにより改善された。	判断理由：大雨等による河川の氾濫はなく、一定の効果があったと判断している。ただし、第2次で課題となっていた土砂除去については、未だ解決していない状況である。
今後の方向性				拡大				拡大					拡大	
方向性の判断理由 改善、改革の内容 (H25、H28、H30)	H25：河川の氾濫については、ありませんでしたが畑への冠水が一部あり、既に下流側に流出している土砂が原因となっており今後の課題であり、今後回数を増やすことや下流部の土砂を取り除く必要があると判断している。				H28：河川の氾濫についてもなく畑への影響もない状況でありました。既に下流側に流出している土砂は、河川の氾濫を誘発させる恐れもある事から今後の課題であり、今後回数を増やすことや下流部の土砂を取り除く必要があると判断している。				H30：河川の氾濫がなく畑への影響もない状況でありました。既に下流側に流出している土砂は、氾濫を誘発させる恐れもある事から取り除く必要があるため今後の課題である。					